

セルフモニタリング報告書(令和5年度分)

令和6年 4月 30日

施設名: 苫小牧市東開文化交流サロン

指定管理者名: Social Library Platform 東開町

所管課名: 福祉部 総合福祉課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	計画に基づき実施している。	A・Ⓔ・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	月ごとに利用状況をモニタリングし、カフェ新メニューの開発や図書室の新刊情報発信など、利用率向上のための方策の実施に努めた。	A・B・Ⓒ・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。	/	/
自主事業は計画どおり行われたか。	計画に基づき実施している。	A・Ⓔ・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	町内会、学校関係機関、地域住民、その他各関係機関等と適宜協働・連携を図ることが出来た。	Ⓐ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	アンケート結果からは高い満足度が把握できるが、カフェ商品の充実や図書への要望などが一定程度あるため、満足度を高める余地がある。	A・Ⓔ・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	来館者からの直接の意見や要望等を把握できるよう、常に見守り支援員が気を配っている。また定期的なアンケートや意見箱設置し、対面では言いにくい内容も表出できるように努めている。	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	見守り支援員が常時気を配りながら利用者対応している。また館内意見箱の内容を定期的に確認し、即時対応できるもの改善し、検討が必要なものは関係者との協議検討を行っている。	Ⓐ・B・C・D・E

3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	商品購入時は可能な限り相見積もり、難しい場合にはインターネット上で調べて価格比較したうえで購入している。また、日照時間に合わせたライト点灯時間の変更など光熱水費の節約にも努めている。	A・㊦・C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	可能な限り、市内複数業者での見積比較を行うことによって適切な経費となるよう努めている。	A・㊦・C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	HP 上での貸館状況の公開や利用手続きのご案内、サイネージでのイベント周知による来館者増、カフェ新メニューの検討などを行っており、利便性向上に努めている。	A・㊦・C・D・E
4 適正な管理運営		
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	各種研修（救命救急、虐待防止、危機管理等）を実施し、職員全体の知識向上等に取り組んだ。	A・㊦・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	不測の事態への対処対応について、防犯や不審者対応を含む研修を実施。また来館者等からのご意見があった際には、適宜検討と改善を行うことが出来た。	A・㊦・C・D・E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正に配置している。突発的事由による欠勤等についても、可能な限り知りえた時点で体制組みなおしなどの調整を行っている。	㊦・不適
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	問い合わせや利用申請の際には、条例や基準に則り適切に処理し適正な使用許可や平等な利用を実施することが出来た。	㊦・不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	情報セキュリティ研修を実施し、適正に管理を行った。	㊦・不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	複数体制で管理し、適正かつ適切な処理を行った。	㊦・不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検及び保守については、委託契約業者と連絡調整を行い、適正に実施した。	㊦・不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に管理を行った。備品等に不備があった際には、所管課や業者と連絡調整を行い状況改善に努めた。	㊦・不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	事業計画を基に必要研修の実施やコンプライアンスを遵守した管理運営を行った。	㊦・不適

5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	雇用に関しては 90%を超える職員が苫小牧在住。資材や再委託については地元業者を中心に行っている。また町内会等と協働でイベントを行うことが出来た。	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

[4 適正な管理運営]において不適がある場合、その理由と今後の対応について

指定管理者の自己評価(全体を通して)

【全体評価】

概ね事業計画に沿った管理運営を行うことが出来ました。初年度に引き続き設備、備品関係の管理にあたっては、所管課と協議を重ね適宜対応し運営を進めております。

自主事業としては、当サロン内で障害者総合支援法に基づく就労継続支援 (A 型・B 型) 事業を運営しており、病気や障害などさまざまな生きづらさを抱えた方が働く姿が地域の中で可視化され、サロンコンセプトでもある多様性の理解と寛容な心を育むことを目指しています。令和 5 年度末では A 形利用契約者 5 名 (R6 年 4 月 2 名増加)、B 型利用者契約者 3 名 (R6 年 4 月 1 名増加)、延利用 1300 人の方に対してサロンにて就労支援を提供することが出来ました。また、サロン外での企業活動や地域活動を進めていくため、苫小牧市内の企業との障害者雇用や委託作業の協議検討、苫小牧市近郊の農家への施設外就労や支援に関する協議などを行うことができ、施設内にとどまらない展開について動くことができました。

【特筆すべき成果】 見守り支援員による声掛けや地域活動コーディネート

引き続き来館する地域住民への声掛けから始まり丁寧に関係性構築を進め、サロンサポーター登録を行い、サロンでのイベント開催の中心となってもらうなど、地域住民が主体的に多世代との交流を企画し実行する活動コーディネートを行うことができました。また多様な事情を抱える人に対して、傾聴や必要な情報提供、他機関協働も実施してします。

【課題】

○図書、カフェ、貸館等のサロン内各機能の利用率向上

図書、カフェ、貸館の利用については、計画当初の目標には達しておらず、目標の見直しに加え利用率向上に向けた新たな取り組みを行うなど、向上の余地を大きく残しています。図書については、R5年度1年をかけて当初予定していた28,000冊を蔵書に至ったことから特色ある蔵書を活かし、開所時間の延長なども検討してまいります。カフェや貸館についても、より認知度があがることでの利用増が見込めることから、市内外から人を惹きつける潜在的な魅力ある機能を有効に発揮し、情報発信や来館者へわかりやすく伝える方法を検討・実行し、利用率向上に努めてまいります。